

JGA PAPER

2023 Spring / Summer

2023年4月 発行 一般社団法人日本グルーデコ協会

Vol. 20

JGA 通信 Vol. 01
2014年4月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 02
2014年6月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 03
2014年8月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 04
2014年10月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 05
2015年1月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 01
2014年4月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 02
2014年6月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 03
2014年8月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 04
2014年10月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 05
2015年1月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 06
2015年3月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 07
2015年5月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 08
2015年7月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 09
2015年9月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 10
2015年11月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 06
2015年3月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 07
2015年5月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 08
2015年7月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 09
2015年9月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 10
2015年11月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 11
2016年1月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 12
2016年3月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 13
2016年5月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 14
2016年7月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 15
2016年9月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 11
2016年1月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 12
2016年3月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 13
2016年5月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 14
2016年7月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 15
2016年9月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 16
2017年1月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 17
2017年3月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 18
2017年5月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 19
2017年7月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 20
2023年4月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 16
2017年1月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 17
2017年3月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 18
2017年5月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 19
2017年7月
一般社団法人日本グルーデコ協会

JGA 通信 Vol. 20
2023年4月
一般社団法人日本グルーデコ協会

歴代の
JGA会報表紙

Voice

同じことを続けることは難しいけれど、 続けることで見えてくる世界がある

山岡 まさえ

Masae Yamaoka

一般社団法人 日本グルーデコ協会代表理事

グルーデコ[®]をすること、アクセサリーを作ること、写真を撮ること、文章を書くこと、そのこと 자체が苦痛なものは絶対に続けられない。

でも、好きなことを沢山の人に伝えるために、苦手な写真を撮ることったり、文章を書くことは何とかなるものです(笑)

私もこの会報を、続けることができたのは、グルーデコ講師として協会に所属してくださっている皆様がいてくださったからです。皆さんのが楽しみにしてくださっている、皆さんに伝えたいことがある、グルーデコ講師の活動を多くの人に知つてもらいたい。そんな自分のやりたいことがあつたので、こうして20号まで続けていくことができました。

これからも、もちろん続けていきますよ(笑)

こんな風に「続けてくださいね」と偉そうに見えてくる世界があります。

皆さんにお話をしておりますが、私もすぐにやめてしまつたり、続かなかつたりすることがとても多く、今でもその傾向は改善されていません。だからこそ、余計に「続ける」との大きさを感じています。

だつて事実、続けられていることだけが、うまくいっているからです。

続けられることって、その根本が「好きなこと」でないと続けられません。どんなことでもいいのです。

やるべきことをやることもせずに、結果だけを求めて、周りの人を見ては羨ましがつていただけだったのではないかと思います。その私がうらやましいと感じていた人は、きっと、ちゃんと自分のやりたいことを、続けていらっしゃつたのではないかと思えます。その方の努力を感じることができます。

付くかもしれません。講師仲間がいない。そう感じている方は、JGAを思い出してください。

JGAはあなたのそんな気持ちにそつと寄り添うために存在します。決して完璧なアドバイスはできないかもしれません、私を含め、同じように感じてきた先輩たちがJGAにはいます。その話を聞くだけでも、何か気が付くかもしれません。

結果が出ない、誰からも求められないなど感じて投げ出してしまいそうになつた時に思い出して欲しい

結果が出てくるまで、続けることは大変です。それは誰にも評価されなかつたり、誰からも求められていないと感じたりするからです。

もしそう感じて、投げ出してしまいそうになつたとき、あなたの周りには講師仲間たちがいるということを思い出してみてください。

20号まで続けてこれた感謝の気持ちを込めて、私も皆さんに恩がえしを色々な形で、やつてきたいと思っているので、気軽にご連絡くださいね。



Voice

GrassNail&Bis

小栗 友里
Yuri Oguri

グルーデコ®認定講師



「ここにちは認定講師です。」

グルーデコ®を通じて 得られたもの

名古屋の自宅サロンでグルーデコレッサンを行っている GrassNail&Bis の小栗友里と申します。

グルーデコ®を始めたのは 2012 年、気付けばもう 10 年以上もグルーデコ®に携わっています。自分好みのアクセサリーを作成し、またそれをレッスンして日々を楽しんでいます。

突然ですが、私の昨年の目標は「新しい事と苦手な事に挑戦する」という目標を立てていました。それが両方ともグルーデコ®で目標を達成する事が出来ました。

新しい事の挑戦は、動画レッサン販売サイト「FANTIST」のグルーデコアーティストに選ばれた事です。短期間でレッサン動画を作るというとてもハードな作業でしたが、動画を作る為の基本的な事を教えていただけたとても貴重な経験でした。

そして苦手な事の挑戦は、clubhouse 内のグルーデコファンクラブでのモダレーターになつた事です。実は人前で話すのがすごく苦手なのでとても良い機会をいただきました。お陰様で、最近では人前で話すことにも少し慣れてきました。

どちらの挑戦もグルーデコ®に携わっていたからこそ目標を達成することができました。これからも大好きなグルーデコ®をもっと楽しんでいきたいと思います。

グルーデコ®はアクセサリーを作るだけでなく色々な事を経験出来る機会もあります。是非みなさんも色々と楽しんで下さいね。



クリスマス会

コロナ禍になり人と会う機会が激減し、そんな生活に少し寂しさを感じる日々の中で『少しでもリアルで、日々を楽しく過ごすための友達や仲間を見つけてもらいたい』

そんな思いで、2021年秋にグルーデコ講師 4 名の「名古屋 espoir (希望)」チームを結成しました。

とは言ってもリアルで会うのはまだまだ心配な時期でしたので、安心して参加していただける場所や交流の仕方に拘り「ホテルでのワーク&ランチ会」として活動を始めました。

開催直ぐは参加者も少しでしたが、皆で楽しんでいる様子を SNS で発信していくと、回を重ねるごとに参加者も増えていました。

2022 年のクリスマス会には 60 名を超える方々が飛行機や新幹線に乗って名古屋までお越しくださいました。その中には山岡理事と保田先生もいらっしゃりとても驚きました！

また、皆さんからたくさんの協賛品をご提供いただき、その温かい気持ちが伝わってきてとても嬉しかったです。

クリスマス会当日は、素敵なお土産の美味しいランチを食べ、色々なゲームを時間の許す限り楽しみたくさん笑顔と明るい笑い声に包まれたとても素敵な時間となりました。ありがとうございました！

プレシオサアンバサダー試験

第2回
2023年5月21日(日)開催!



試験形式

- Zoomで手元を写し、ネットにて試験問題を掲載
20分(前後入れて40分)
- フォームで回答する
フォーム送信が時間内のもののみ有効
- 内容はプレシオサハンドブックから。
及びJGA Paper(Vol.19・20)プレシオサページ
- 30点満点 25点以上合格

本年度の変更点

- 1年の新色・新型情報などより2問程度
- 内容はプレシオサハンドブックから。
及びJGA Paper(Vol.19・20)プレシオサページ
- 記述のみ→記号を選ぶ問題
※記述がある場合もあるので注意

合格者

- プレシオサアンバサダーの称号
- プレシオサアンバサダー認定証の発行
- 合格者および更新された中から希望購入者にピンバッジ



エストニア
エメラルド



プレシオサアンバサダー試験
毎年1回 5月第3日曜日開催予定

受験料 2,500円
ピンバッジ 1,000円

New Color
BLUE VIOLET



PRECIOSA

Range Extension
ADDITIONAL
COLORS



PRECIOSA

Range Extension
NEW SIZES

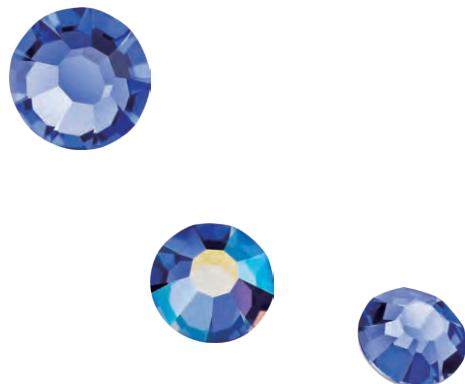


PRECIOSA

ブルーヴァイオレットは、その名の通りありふれた花ではありません。

エレクトリックパープルとウルトラマリンをブレンドした神秘的な色合いは、穏やかさ、自己肯定感、楽観主義を呼び起します。

ブルーヴァイオレットの彩度の高い輝きは、季節をまたいで持続力を持ち、オートクチュールのキャットウォークにさえも、とらえどころのない華やかさを添えることが保証されています。



B
L
U
E
V
I
O
L
E
T

—ブルーヴァイオレット—

CRYSTAL INNOVATIONS SS 2024
PRECIOSA



第9回

関口 彩
Aya Sekiguchi

山岡 まさえ
Masae Yamaoka

山岡まさえの
この人に会いたい

Interview



関口 彩
Aya Sekiguchi

instagram
<https://www.instagram.com/ayarts/>



Linktree
<https://linktr.ee/ayarts>



facebook

思えるようになってきたところです。何かを成し遂げたければ常にチャレンジしていくことが大切だと思います。

S それは、なぜだと思いますか？

S 発信することや、作風を模索すること。全てが、チャレンジです。やはり人は、唯「無」のものに惹かれます。「その人らしいもの」です。ですがチャレンジをしていかなければ、変化がなく停滞してしまい、そこには到達しません。

「青い絵」が生まれた背景

S 私は会社員を辞めてすぐのころ、イラストレーターをしていました。イラストレーターと画家を明確に区別することは難しいですが、あえて区別するならば、イラスト

Y 先日お会いした際に彩さんから伺つたお話を、いただいたアドバイスが本当にわかりやすく、これをたくさんの方に聞いてもらいたいと思ったことが、今回お願いした理由です。

Y 良いお話を、ありがとうございます。作風を模索するという言葉が出ました。実はある場所で、クマの置物の作品を見たんです。その時に、「あれ？」これ、彩さんが描いたのでは？」と感じました。もちろん、そこは彩さんの個展ではありませんでした。そのような情報はありませんでした。ですが、その後に確認すると、やはり彩さんの作品でした。あの作品は、ふだん彩さんが描かれている絵とは違うタイプだったのです。何か企画による作品だったのかなと思います。それでも私が「彩さんのもの」と気づいたのは「作品＝人」で結びいているからですよね。彩さんは、このように世界觀を作るために意識しておられることがありますか？

S 私は会社員を辞めてすぐのころ、イラストレーターをしていました。イラストレーターと画家を明確に区別することは難しいですが、あえて区別するならば、イラスト

1983年富山県生まれ。会社員のかたわら独学で絵画制作を始め、2017年から画業に専念する。全国各地で数々の個展やグループ展を行うほか、書籍やポスターの装画を手がけるなど幅広く活動を展開している。生まれ育った自然豊かな土地にある動植物や石からインスピレーションを受け、自身が感じる「自然の色」「青」で描かれた作品は、凛とした静けさと優しさが内在し、見る人を魅了している。2021年国際アートフェアUNKNOWN ASIAにて中居大輔賞受賞。

今後の展示会スケジュール

●ビエンナーレ富山 2023

会期 / 6月4日～8月25日

(4会期に分かれしており、そのうち関口は第1期の

6月4日～6月23日)

場所 / 富山県美術館 TADギャラリー

続くチャレンジ、 小さな作品から大きな作品へ

S 例えば、F8号というサイズの作品がありますが、縦45センチ、横40センチほどになります。

Y なるほど。それくらいのサイズならご自宅で描けるけれど、今後は大きい作品を描く機会も増えてくるということですね。

S 自宅内の8畳ほどの部屋で描いています。私は小さい作品を描くことが多いので、机の上で描きます。ただ大きい作品となると、それはいきません。そのため、今年の野望はアトリエを自宅とは別に借りることです。

Y 小さい絵というのは、何センチくらいのものなのでしょうか。

Y 協会の会報の中に「山岡まさえの、この人に会いたい」というコーナーを設けておりまして、ただただ私のわがまままで会いたい人にお話を聞いております。今回は無理を聞いてくださり、ありがとうございます。

Y 協会の会報の中に「山岡まさえの、この人に会いたい」というコーナーを設けておりまして、ただただ私のわがまままで会いたい人にお話を聞いております。今回は無理を聞いてくださり、ありがとうございます。

S (関口) いえいえ、とんでもないです。

S はい、例えば2メートルほどのサイズのものになると、運ぶ時に角を壁にぶつけてしまうので、広いところがないですね私にとっては大きな挑戦で迷いもありますが、少し難しいかな？と感じるところに挑戦していくことが大切ではないですか？不安に感じる中でも、そろそろいかもと



5

『あらゆる作品は自分自身、そしてチャレンジは続く』



レーターが描く絵のほとんどは、商用のものです。例えば、本の表紙や、お菓子のパッケージ、雑誌の挿絵などを、依頼に沿って描きます。そのため描き終えた作品を、ご依頼に合わせて描き戻すこともあります。私にとっては、それが苦痛でした。絵を言われた通りに描くことは、私にとってはあまり楽しいことではありません。そのため、イラストレーターではなく、自分の思うように描き、それをいいと言つて下さる方に求めてもらえる画家になろうと思いました。そう思つた時に、やはり私の絵を見て「閑口彩の絵だ」とわかると自覚していました。画風をころころと変える作家だと、価値もつきませんし、信念がない筋の通っていない人だと思われます。もちろん、好きなようにやるのが一番だし、何十年も続ける必要はありませんが、まずは自分が描いていて楽しい画風を見つけようと思い、今でもとても気を付けています。

Y その画風は、すぐに見つかりましたか？

S いえ、すぐには見つかりませんでした。昔の絵と今の絵は、全く違います。駆け出しの頃は、私の絵を見て私のものだとわかつてくださったと思いますが、絵を変えるたびにファンが離れていく不安がありました。とても悩みましたが、イラストの依頼が来ることは避けたかったので、イラストっぽくならないようにということは気を付けていました。

Y そうでしたか。今の画風を確立されたのは、いつ頃ですか？

S 描き始めたのは、2019年の春です。その時に初めて、東京のアーティストの登竜門となっているコンテストに出展しました。それまでは、イラストレーターが出すようなコンテストに出していましたが、それをやめて、画家、造形作家、パフォーミングアーティストなどのアーティストが出コンテストに挑戦しました。そこに出す際に、どのような思いで描いているのかというコンセプトを問われ、エントリーシートに記入します。それまでは、ご依頼に沿うように描いてきたので、コンセプトと突然間わざわざわかりませんでした。ですが、何となく「青が描きたいな」という気持ちがあり、どうして私は「青」だと思ったのかを見つめ直して、文章にしていました。

Y そのことを、ぜひ聞かせてください。

S 私は生まれ育ちも富山県で、現在も富山県在住です。幼少期に父の転勤により、違う県に住んだことはありました。が、富山県に帰つてくる度に、「何となく『青いなあ』と思つていたのです。富山県は日本海に面しており、北アルプスの北部に位置する立山連峰があるのですが、県内の広範囲で山脈が続いているので、高山ゆゑに空気の層が幾重にも重なり、山が緑ではなく水色に見えます。富士山を飛行機から見ると、水色に見えますよね？それと同じです。目の前に水色の巨大パノラマが広がり、山の反対側は青い海に囲まれているのです。だから私は、

S いえ、すぐには見つかりませんでした。昔の絵と今の絵は、全く違います。駆け出しの頃は、私の絵を見て私のものだとわかつてくださったと思いますが、絵を変えるたびにファンが離れていく不安がありました。とても悩みましたが、イラストの依頼が来ることは避けたかったので、イラストっぽくならないようにということは気を付けていました。

Y そうですね。やはりこうして自分の棚卸しをしていくことで、画風に繋がっていくのですね。

Y 「青いなあ」と感じていたのですね。

こんな感じで、「自分らしさ」を知るために自分の棚卸しを続けました。ノートにたくさん書きましたね。

Y 「自分らしさ」は、自分では当たり前だと思っているため、自分で気づくことが難しいです。

Y 素晴らしいですね。「作品＝自分」というのが、よくわかります。

S コンテストは、一次審査、二次審査を経て、ようやく展示することが叶うものも多くあります。私が挑戦したコンテストは、エントリーシートが無事に通り、東京で展示することになった時に、初めて青絵を持てていきました。展示は、表参道の会場で行われました。場所柄、多くの人、日本人だけでなく外国人の方もたくさん見に来られます。

Y 他にも棚卸しをしながら、数々の「自分らしさ」を見つけていました。私は幼少期から花が好きで、お散歩に出ると、なんばんを摘んで、なかなか家に帰らない子でした。おばあちゃんが「帰るよ」と言つても、ずっと草花を摘んでいたそうです。私はこれを、女の子なら当たり前のことだと思つてました。私はこれを、女性の子なら当たり前のことだと思つてました。しかし大人になってから、ある女性が何気ない会話の中で、「私、お花って苦手なんですよね」と言つたのです。その言葉を聞いた時は、とても驚きました。それで、女性は全員お花が好きだと思い込んでいましたから。彼女に理由を尋ねると、枯らしてしまうからだと言つていました。このことで、花や植物が好きであることは、私の二つの個性、特徴だと気が付くことができたのです。

S 他にも、ありますよ。子供の頃によく親が旅行に連れて行ってくれたのですが、海に行けば「海がきれいだなあ」と見ながらも、石や貝を拾う時間のほうが長かったことを覚えています。今でもわざわざ海へ石を拾いに行きます。これつて、誰しもが楽しいことではないと思うので、私の個性、特徴ですね。

Y よくわかります。実は私自身、頭の中がぐちゃぐちゃになつていて、彩さんの作品を見よう！となりました。

Y 彩さんの作品は「静」と「動」で言うところの「静」なので、見ると落ち着きを取り戻すことができるのです。色からも、そう感じるのかもしれないですね。『ちやごちや』している頭の中が、すっかりする感覚。それを全ての作品から感じられます。それが世界観なのですよね。どの絵を見ても、彩さんの作品だとわかるのは、そこなのかなと思います。

Y 彩さんの作品だ」とわかるのは、そこなのかなと思います。ですが、先ほど「チャレンジ」という言葉が出ていましたよね。この世界観が、今後変わることもあるのですか？

S そうかもしれません。だけ今は青い絵を描くことを楽しめているので、青い絵というのは、しばらく変わらないだろうと思います。次のチャレンジとしては、サイズを大きくするのですね。

Y 大きい青い作品が見られることがあります。とても楽しみです。

S 私も、少しドキドキしています。

Y ところで、今回発表されていた猫の絵がありますが、この作品は、私としては何だかいつもと雰囲気が違うと感じたのですが、いかがでしょう？

S そうですね。この絵は、描き方が違うのです。ふだんの青い絵は、しっかりと下書きを取って、それを紙にトレーでして筆と絵具で描きます。だけど猫の絵は、インクと割り箸で描いています。

Y え、割り箸？ 割り箸をベンにするのですか？

S はい、割り箸の先をカッターで削ってベン先にし、インクを付けて描きます。下書きもしません。

Y サイズは？

S A 4くらいいです。下書きをせずに線を取るのは、とても難しいことです。数分で描ききるということもあります。絵具と筆で描くものはしっかりと描いているので、この割り箸とインクで描く時は気分転換になりますね。それから、こちらの方がお値段も抑えているので、お客様にとつてもお求めやすいです。

Y そうなのです。私はてっきり、逆かと思っていました。あまりない雰囲気で珍しいから、他よりも高いのだと思つていました。

S 制作時間がそんなにかかるないのでですよ。ペイントのものの方が、どの作家さんも基本的には高いと思います。

価格を上げる際に、大切なこと

Y ありがとうございます。その次は、お客様の反応を見ながら、価格を上げたり下げたりするのですよね。その中でも、「上げる」タイミングは難しいと思うのですが、彩さんは、そのタイミングはどのように来ましたか？ きっかけなどは、ありましたか？

S そうですね。最初に割り箸で描いたのは、2018年でした。猫の保護活動をされている会社の社長さんと知り合い、その会社が東京ドームシティで猫のイベントをやられた際に描きました。来場者は約600人で、物販ブースもたくさん出していました。ステージがあり、ミュージシャンや当地ねこキヤラの出し物もありましたね。その中の出し物の一つで、2メートルくらいの長さの絵をライブで描いて

ほしいと依頼がありました。

ただ、やはり保護団体なので潤沢にお金を出せるわけではありません。その代わりに、「物販コーナーをつあげるから、自由に販売していくよ」と言されました。東京ドームシティという大きな会場で、多くの方に見ていただける機会です。会期は目前に迫つたのですが、これを無駄にしてはもったいないなど、そこで描いたのがスピード一気にたくさんの描くことができる割り箸ベンの猫のイラストでした。ただ、当時の私は本当に駆け出しの頃でしたので、値段を付けるのが怖くて、1枚5000円で販売しました。

Y 今では、ありえない価格設定ですね。

S 50枚持つていき、2日間で9割ほど売れました。初めての経験だったので、当時はそれで十分嬉しかったです。

Y 価格設定の話には、とても興味があります。グールデコ協会の先生たちに「悩み事や相談はないですか？」と聞けば、毎回必ず、価格のことを相談されます。グールデコ協会は11年目ですが、11年経つても全く減らない、むしろ増えているのではないかと感じるくらいに、毎回出てくる相談です。作品の販売価格はもちろん、それ以外にもレッスン代や、レッスンに使う材料、買った材料をそのまま生徒さんに販売する際につける価格など、どれに対しても細かく悩まれています。そもそも彩さんが、このような価格設定に関する相談を受けたら、どのように答えられますか？

S そうですね。価格設定は、最初はわからない怖いですよね。私自身、全くの独学だったので、まずは相場を調べました。他の方々が、どのように売つておられるのかを見ていくのです。そして、自分が経験を積んでくると、「そろそろ価格を上げてもいいんじゃないかな」と思うタイミングが来ます。

Y わあ、それは大きなチャレンジですね。

S 1万円台で売つていたドローリングを、3万円台にしました。

S はい。そしてそれでも、売れていくのですよね。私は価格設定をする際に、自分の中の「もやもや」を見るようにしています。私が以前、ロゴを作ったブランドのお披露目会があつた時に、たくさんの方に来ていただけるようにと手ごろで小さめなサイズの1万円台の作品を作つたことがありました。1万円だから関口彩の作品が初めて買えたと喜んでくださる方や、3枚買おうという方もおられました。

Y ありがとうございます。その後は、お客様の反応を見ながら、価格を上げたり下げたりするのですよね。その中でも、「上げる」タイミングは難しいと思うのですが、彩さんは、そのタイミングはどのように来ましたか？ きっかけなどは、ありましたか？

S きっかけは、ありました。私の場合は絵なので、絵はギャラリーなどで作家さんが個展をされていますよね？

そこに、作家さんもおられます。私はそこへ行って、直接作家さんに尋ねました。

あるギャラリーで、すでに活躍中の若いイラストレーターさんに会いました。そこでボストカードよりも少し小さいくらいのサイズの中に、「筆書きのような小さな犬のイラストが描かれている作品が5000円で販売されていました。今の私なら驚きませんが、当時の私は「高い！」と驚きました。それは最安値でしたが、さらに高い価格帯もたくさん売約になっていました。「小さくておいしいから、この人の作品が欲しい」とファンに思わせる何かがあると分かりました。

そこで私はその作家さんに「どのように価格設定をされていますか？」と尋ねたのです。するとやはり最初はギャラリの方などと相談して決めたと教えてくれました。それから様子を見て、「この値段で売れるなら次は少し上げてみよう」と上げ、また売れた様子を見てから、少し上げる。それでもまだ売れるというのを見て、また上げるというのを繰り返してきたそうです。若手の相場価格があつて、私も最初はそのように付けをしてきましたが、値段を上げても買われないということはありませんでしたから、お話を聞いたことを思ひ出しながら少しずつ自分が納得のいく範囲で値段を上げています。そして最近では、大幅に値段を上げたシリーズがありました。

Y それは、すごいですね。どれくらいの値上げだったのでしょうか？

S 値段は、ただ上げればいいというものではありません。値段を上げるには、上げる努力をする必要があります。例えば人間だったら、きれいなお洋服を身にまとつたり、髪をセットしたり、素敵な靴を履いたりして、品の良い人に見せる努力をしますよね。そういうことを、自分の作品にもしているかどうかです。

それは、例えばどのような額を使つているのかでも伝わります。まずは自分自身が、自分の絵に対してどれだけの愛情をかけているかです。丁寧に宝物のように扱う。それがお客様からどう扱われるかということにも繋がります。

また、私自身の作品作りの際の姿勢も、より引き締まります。やはり1万円を3万円にする時は、もっと綺麗に描き込もうと1枚に対する思い入れが変わりました。

Y お洋服を買う際も、そうではないですか？ 2~3千円の服を

気づいてからは、自分の感情の折り合いのつくところで、値段を上げたりすることがあります。

Y 今、大事なワードが出ましたね。彩さんの心の中に「もやもや」が出るか、出ないか。価格設定の相談をされる方は、「もやもや」がある状態だと思います。現在付けている価格に「もやもや」がある方は、もう少しと高くてもいいのではなくて、おられるのでしょうか。ただ、やはりその時に心配なのが、彩さんも「売れなくてもいいから」と言っていたように、上げても売れるかどうかですよね。

その心配があつて値段を上げられないという方は多いと思うのですが、彩さんはそういう方々に、どのようにアドバイスをされますか？

Y 思うのですが、彩さんはそういう方々に、どのようにアドバイスをされますか？

Y 価格設定は、ただ上げればいいというものではありません。値段を上げるには、上げる努力をする必要があります。例えば人間だったら、きれいなお洋服を身にまとつたり、髪をセットしたり、素敵な靴を履いたりして、品の良い人に見せる努力をしますよね。そういうことを、自分の作品にもしているかどうかです。

それは、例えばどのような額を使つているのかでも伝わります。まずは自分自身が、自分の絵に対してどれだけの愛情をかけているかです。丁寧に宝物のように扱う。それがお客様からどう扱われるかということにも繋がります。

また、私自身の作品作りの際の姿勢も、より引き締まります。やはり1万円を3万円にする時は、もっと綺麗に描き込もうと1枚に対する思い入れが変わりました。

Y お洋服を買う際も、そうではないですか？ 2~3千円の服を

買う時と、3万円の服を買う時では、自分の心も、扱うものも、変わりますよね。そのような気持ちで自分の作品を扱つてあげるということが大事だと思います。

Y とても良いお話を伺えました。ありがとうございます。
彩さんのお話、わかりやすいですし、具体例も素晴らしい。価格が上げられない人の、上げられない理由が、その人が作品を大事にしていないからという部分は、私も実際に目にしています。

グルーデコ®はアクセサリーですが、このアクセサリーを箱に入れるのではなく、袋にボンボンと入れている方もおられます。それも一つずつではなく、まとめて入れていたりするところもありました。そのように難に扱つておられる方は、やはりお値段が安かったですね。

グルーデコ®のアクセサリーは、作家同士で全く同じものを

作つてもいいとされている方もおられます。その中で、パッと見たら同じもののなのに、それが高くて売れていく方と、安くても売れない方がおられます。その差が、彩さんのお話をそのものなのほど感じました。

S 本当に、そう思います。これつて、自己評価だと思いませんか？「作品＝自分」ですから、自分が自分をどう思っているのか、私なんてまだまだだと思っていれば、まだただの作品になります。

展示会などで、お客様の前に出る際に、どのような服装で出るかも大事です。どのような服装で、髪をきれいにセットしているか。または、あまり深く考えないで出ているのか、この場合はやはり、お客様にとって自分がどう見えるのかという気遣いができる方のほうが、売れますよね。

Y 当時から、「自分らしさ」を大切にされていたのですね。お話しの中に、クリエイティブな人たちのところに身を置きたいからと、新聞社やテレビ局に勤めたと言われていましたが、やはり望むことを叶えるには、それに近い環境に身を置くことが大切だとお考えですか？

S そうですね、近道だと思います。以前、クリエイティブなことは関係のない会社に勤めていたことがあります。そこで私がたまにふと、「絵描きになりたい」ともらすと、ボカーンとされましたね。全く悪気はなく、「そんな世の中のためにならないような仕事をするのか」と言わされたことも



Y そうですね。そしてそれは、作品に対してもそのまま繋がりますね。作品に愛情を持つて大切に扱つてほしいと思つていると、自分自身も大切に扱つたのが当たり前になります。そうでなければ、人から大切に扱つてもらえることはありません。

人との良い繋がりも、自分の力に 悪い繋がりも、自分の力に

Y 彩さんは現在、各地で作品を展示され、富山で個展もされていますが、そういうたぎやラリーで作品を展示されるようになったきっかけなどは、ありますか？今、いろんな企業からお話を来ていると思いますが、その始まりが知りたいです。

S 今から10年ほど前、私は会社員で30歳を過ぎた頃でした。会社員でもあるけれど、やっぱり私は絵だと思い始めましたが、進むことは不安がありました。普通に会社員をしていく方が楽だろうなと考えていました。それと同時に、自分らしくないとも思つてました。そこで少しずつ、描いた絵をFacebookにアップするようになります。

すると、それを見てくださった方がギヤラリーをお持ちで、「彩ちゃん、展示しなよ」と言ってくださったことがきっかけです。その方が人脈の広い方だったこともあり、そこから一気に拡散されました。

また、クリエイティブな人たちの中にいたといいう一心で、富山県の新聞社やテレビ局に勤めていた時期もあります。するとその中には、私の思いを理解・応援してくださる方がいて、そのおかげで個展をするようになりました。それとは別にアーティストやクラフトの方などを表に出すイベントを企画し、主催していました。やはりすべて人が繋がり、人のおかげでここまで引き上げてもらつたなと感じています。

Y 当時から、「自分らしさ」を大切にされていたのですね。お話しの中に、クリエイティブな人たちのところに身を置きたいからと、新聞社やテレビ局に勤めたと言われていましたが、やはり望むことを叶えるには、それに近い環境に身を置くことが大切だとお考えですか？

S 正直、当時はとてもショックでした。だけど、その悔しさをバネにしました。頭の隅にその言葉が残つていて、時々その言葉が蘇つた時に、「あんなことを言われたけれど、私は私の道を進むしかない」と自身に言い聞かせる感じです。

Y そうですね、近道だと思います。以前、クリエイティブなことは関係のない会社に勤めていたことがあります。そこで私がたまにふと、「絵描きになりたい」ともらすと、ボカーンとされましたね。全く悪気はなく、「そんな世の中のためにならないような仕事をするのか」と言わされたことも

あります。それは、わからないから、その発言ですね。だけどクリエイティブな環境に入る方、モノづくりに携わっている方や、そういうことに興味のある方は、絶対にそういうことは言いません。だから居心地がいいです。

Y グルーデコ講師の中にも、いわゆるドリームキラーに悩んでおられる方はおられます。「そんなお金にもならないことをして、何になるの？」と言われてやる気をなくす方や、自分のやつていることがダメなことのように感じてやめいかれる方もおられます。モノづくりをしている方は、こういったことを言われやすいのではないか。彩さんにも、そういうたぐり夢キラーはいましたか？

S いましたよ。まずは、家族です。

Y ああ、わかります。家族から言わることは、多いですよね。

S やはり絵描きって、特殊ですよね。私が初めて「絵描きになりたい」と言つたのは、小学校の低学年の頃だったときです。すると父と祖母から、「そんな死んでからしか死れないような仕事は、やめておきなさい」と言わされました。その言葉により、子どもの頃には「絵描きになる」という選択肢は無くなりました。それから大人になって絵を志すようになつてからでも、気が削がれる言葉を放つ人はたくさんいました。

Y そう思つて、自分の心にしか湧き上がつてしまつて迷いなく突き進んでください。

S 自分が好きだと思うことは、自分の心にしか湧き上がつません。例えば私は数学が嫌いなので、数学の学者や先生になりたいと思ったことは一度もありません。

Y そう思つて、自分の心にしか湧き上がりたくない特別なもので、それを大事にして迷いなく突き進んでください。

S 自分が好きだと思うことは、自分の心にしか湧き上がつません。例えば私は数学が嫌いなので、数学の学者や先生になりたいと思ったことは一度もありません。

Y そう思つて、自分の心にしか湧き上がりたくない特別なもので、それを大事にして迷いなく突き進んでください。

S ありがとうございました。

S 自分が好きだと思うことは、自分の心にしか湧き上がつません。例えば私は数学が嫌いなので、数学の学者や先生になりたいと思ったことは一度もありません。

Y そう思つて、自分の心にしか湧き上がりたくない特別なもので、それを大事にして迷いなく突き進んでください。

S ありがとうございました。

Y そう思つて、自分の心にしか湧き上がりたくない特別なもので、それを大事にして迷いなく突き進んでください。



グルーデコ カンファレンス

2023

01 プライズ 発表

2020年から始まりましたグルーデコプライズは、協会が掲げる「Input Output Share」の精神を忘れず今できることを続けてきた講師に贈るJGA認定講師のJGA認定講師によるJGA認定講師のための活動です。

今年度は昨年度までとは違い、賞の数を細分化することなく絞らせていただきましたが、総合計 596名の講師へと贈られました。おめでとうございます。



- 2022 Grow Prize**
- Join Prize**
- Elected Prize**
- Grand Prize**

2022年認定講師登録多数で賞	1名
本部の呼びかけに応えてくれたで賞	87名
プライズ選考頑張ってくれたで賞	35名
認定講師100名越えで賞	0名

合計 123名

その他 473名

総数 596名



全国の実行委員が選出させていただきましたプライズ

最初の集合写真



02
ペライチ
講座

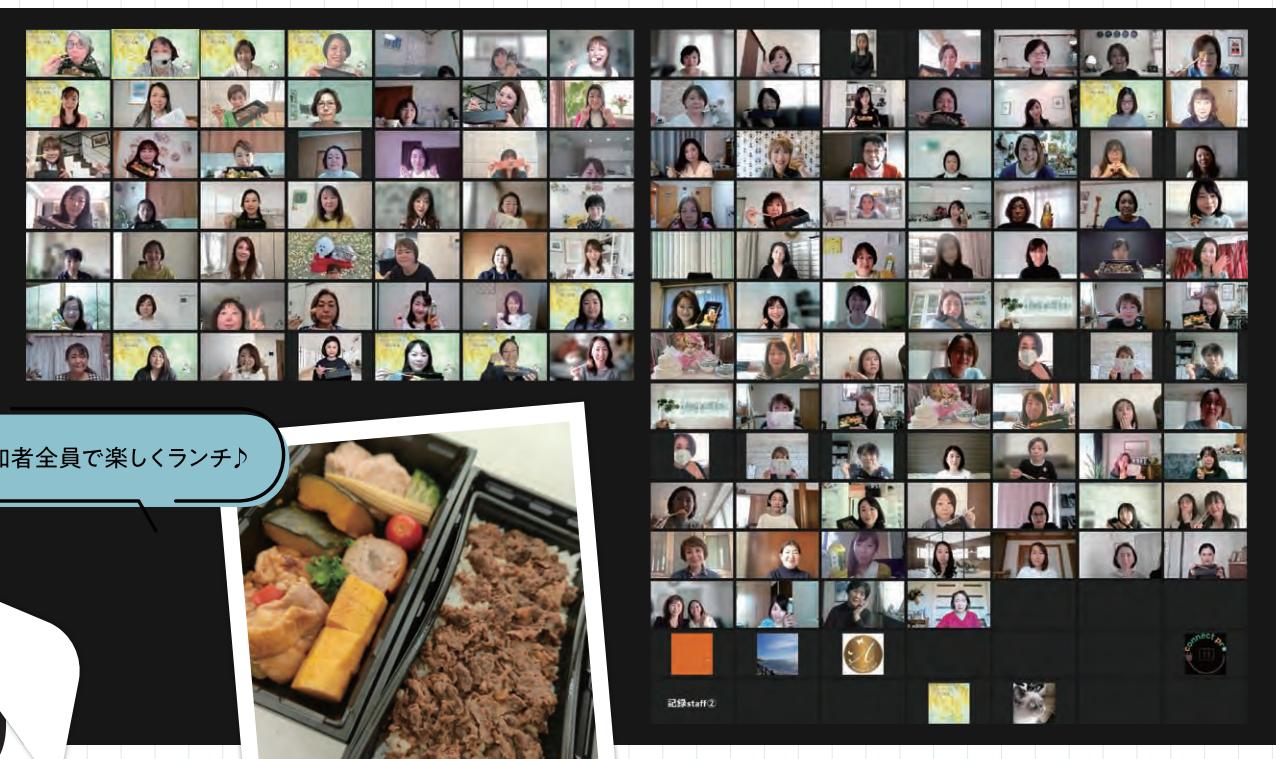
「集客が得意なホームページが作りたい」のわがままに、
ペライチさんがグルーデコ講師専用のテンプレートを特別に作成。
その使い方や、ホームページを持つことの大切さを講義して
いただきました。憧れのホームページができる！



ペライチの中の人！
笛野氏によるペライチ講座

03
ランチ

今年はブレイクアウトルーム機能を使って小部屋に分かれました。
JGAのクリスマスパーティーにご参加されたことのある講師さんは、なんだか懐かしかったんじゃないでしょうか。メニューは牛しぐれ煮弁当。これで午後も乗り切れる？！



10

☆美味しそうなランチ☆

04
レッスン動画
インタビュー

FANTIST×グルーデコ協会コラボ企画、
第1期生の方にぶっちゃけ苦労話や、
ご経験談を聞きました。
「次は挑戦してみたい」と思われた方も
多いはず。生のお声は勉強になりますね。



05
真弓先生の
お片付け
講座



講座の内容がとても濃かったのは、
取材と編集にとっても時間と労力をかけて
くださった賜物です。
何度もみたくなる内容は、「やる気になる」
「自分もできそうと前向きになれた」などの
ご感想が! 全面的に笑顔でご協力くださった
西田真弓先生、そして取材に応じてくださった
太田先生、ありがとうございました。

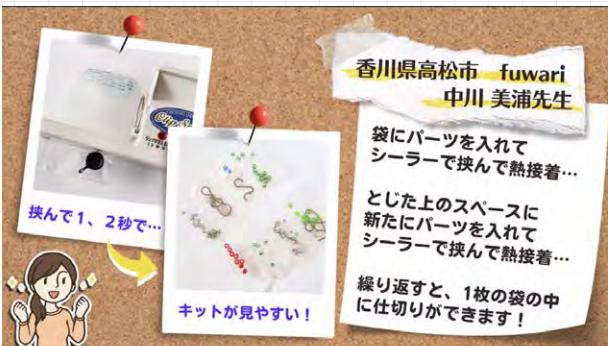
5時間のお片付けミッション達成!!
大成功!!



06
SDGs



事前に募集したアンケートを基に、
「ハンドメイド×SDGs」のテーマについて深く
掘り下げました。
レッスンやオーダーに伴う身近なことこそ、
取り組みやすい課題だと思うので、お互いの
方法を知って実戦に繋げていきましょう。



07
インスタ
プチ講座



今さら聞きにくい基本中の基本をまずは
抑えるところが大切!
「ああしまった! こんな投稿はNGだった!」
なんて気づかれた方も多いのでは?





08
くじ引き

お楽しみのくじ引きコーナー
10名の超ラッキーな方に素敵な商品が当たり、
そこには暖かいおめでとうの拍手がわきました。



2023グルーデコカンファレンスプレゼント



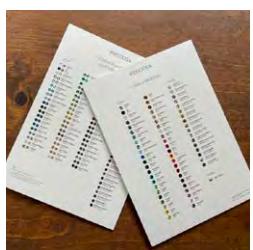
蛍光グルー4色セット



バキューム



wResinカラーフルセット

プレシオサ チャトン&
フラットバッグ色見本セット

理事の個人コンサル90分

蛍光グルー4色セット 3名様
バキューム 2名様
wResinカラーフルセット 1名様
プレシオサ チャトン&
フラットバッグ色見本セット 3名様
理事の個人コンサル90分
(辞退あり。その場合は理事の本が送られます) 1名様

合計 10名様



グルーデコ
カンファレンス
2023閉会
おつかれさまでした！！

最後の集合写真

Recipe



シリコンモールドへの適量の計算の仕方

シリコンのモールドを囲いの上において、0あわせ。
→水をまで注ぐ(あふれないくらい)グラムを量る
→水をする

量った水の重さ(g)×0.74+10g →主剤の必要量
10gは予備

型に入れるだけで簡単可愛いレジンマグネット



1 レジンの量を測ります。wResinは重さで計量できるので簡単です。主剤+主剤の半量の硬化剤を量ります。

アンドボーライスト コップが汚れているのは再利用しているからです。紙コップはレジンが固まるとまた使用でき、どんどん強くなるので、出来る限り再利用しています。これもSDGsです



5 24時間から48時間放置しておくときれいに固まります

(型の大きさ、その時の温度等により、硬化時間は変わります)



2 主剤と硬化剤を入れました。



6 24時間で大体固まっていますが、まだ少し柔らかいと感じるときはクリアでなければ、硬化促進をすることができます。

アンドボーライスト クリアは黄変の懼があるため、硬化はゆっくり時間をかけましょう



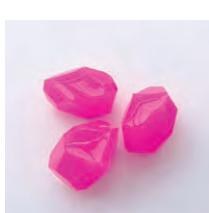
3 3分間良くかき混ぜます。



7 型から外しましょう



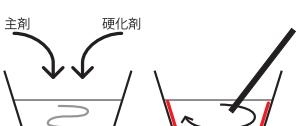
4 かき混ぜたものを、好きな型に入れます。



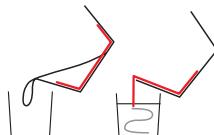
8 上側は少しへこんでいます。この部分にマグネットをセッティング

アンドボーライスト 着接着はレジンを使用してもwGlue®でも!もちろんUVレジンや接着剤でも作ることはできます。

POINT!



主剤と硬化剤を容器に入れ混ぜ合わせても容器の縁にあるレジンは混ざりにくく残ります



別の容器に移し替えると最後に混ざっていないレジンが加わるので、糸状の模様がなくなるまでさらに混ぜ合わせると完璧です

wResin
混ぜ方動画



wGlue・wResinご使用上の注意

- お子様が誤飲されないよう手の届かないところで作業・保管してください。
- グルーを使用する際はゴム手袋を着用してください。体质によってはかぶれる場合があります。万一異常がありましたら医師にご相談ください。
- 直射日光を避け、涼しい場所に保管してください。

Column

4月からは、これまでとは違うステージを生きよう！

2023年は、大きく宇宙模様が変わる形でスタートしました。いつの年以上に、バタバタした年末年始を過ごされたのではないで、どうか。もう4月になりますから忘れているかもしれませんねですが、3月は3回も宇宙模様が変化したので、そこは知つておいてほしいところ。今回のコラムは、その辺りを詳しくお伝えします。

1度目は、3月7日に乙女座満月と土星の魚座入りが同時にあり、「浄化」という大きなテーマがありました。21日に訪れる宇宙元旦に向かって、人、モノ、感情のデトックスを進める時期でした。2度目は、21日の宇宙元旦です。これについてはたくさん星読みさんたちがブログなどに書かれていたので、ご存知の方も多いと思いますが、本当の2023年が始まりました。今年やりたいことの種を書いてスタートさせると良い日で、これはまだ間に合います。

3度目は、24日に冥王星が水瓶座入り。これは15年ぶりのことと、土台作り、構築、体系化、組織作りなどを司っていた山羊座から、IT、最先端、自由、平等、博愛精神などのキーワードの水瓶座へ移動することで、さらに「風の時代」が進みます。

◆宇宙元旦から、4月20日までの動き方

●蟹座生まれ（6月22日～7月23日）
今年は「生まれ変わり」を感じる年になるでしょう。仕事や趣味に新たな目標や生きがいを見つけることができたり、人間関係に大切な絆を改めて感じることもあります。常にポジティブに動くことで、より飛躍できそうです。

●獅子座生まれ（7月24日～8月23日）
今年はあなたの価値観の転換がピークを迎えます。4月後半に入ると、あなたの周りの環境が変わったり、あなたの自身の地位も変化するかも？あなたがさらに高みを目指したいと思うなら、宇宙があなたに合わせた舞台を楽しむ覚悟を持つください。

●乙女座生まれ（8月24日～9月23日）

この2、3年「しんどい」と感じていた人は、苦しい期間を終えます。今後、これまで関わることのなかつた業界の人や、今までとは違うタイプの人など、新しい出会いに恵まれて、あなたの自身がステージアップするはず。作品のテーマも大きく変わるかも。

●魚座生まれ（2月20日～3月20日）
3月の宇宙の切り替わりで、私たちの生活も大きく変わっていくはず。このことを知つておかないと、社会情勢の変化はもちろん、自分の思い通りにならないことが起こるたびに、「どうして？」と感情が邪魔をしてしまいます。4月20日までは、全ての惑星が揃って前を向き「いつも逆行しない」「全天体順行期間」が続きますから、年始に立てた目標を思い出して、改めてスタートさせてくださいね！

●天秤座生まれ（9月24日～10月23日）
2023年上半年は、新しいパートナーとの出会い、今のパートナーとの改めて強い関係を結ぶ、「出会い直し」があります。どちらにしても、ポジティブな出会いになるはずです。12年に一度だけ訪れるとしても貴重な期間なので、出会いを大切にしてください。

●蠍座生まれ（10月24日～11月22日）

5月に、あなたの人生の一部分がピークを迎えて、新たな方向を向きます。方向性が決まれば日常が安定し、あなたの動きが増していく、強い出会いへ導かれるイメージです。2023年前半は宇宙のリズムに乗つて、仕事も人間関係も良いもの引き寄せましょう。

●射手座生まれ（11月23日～12月22日）

自分から動くことが運運のカギ。動けば動くほど良いモノを勝ち取るイメージです。積極的に人とコミュニケーションを取ることも大切。その過程すべてに「喜び」が生まれるはず。仕事も同じく。どんどん作品を生み出して、知られる努力をしましょう。

●山羊座生まれ（12月23日～1月22日）

3月23日以降から、あなたは少しづつ新たな旅を始めることになります。長い期間をかけて、人間としての成長を続け、新たな舞台に立つ自分をイメージしましょう。また、お金と積極的に関わること、お金の勉強をすることで、あなたの仕事がうまくいきます。

●双子座生まれ（5月22日～6月21日）

これまで夢でしかなかったことが、現実に手に入る目標へと変わっていきます。あなたを中心とした人の輪が生まれるイメージで、新たな仕事上のプロジェクトを持つくる人もいれば、あなたが生み出す作品を買取る人も増えるでしょう。

●水瓶座生まれ（1月21日～2月19日）

3月23日に冥王星が水瓶座に移動したことから、水瓶座の人は大きな影響を受けます。これから約14年間、「死と再生」を意味する経験をたくさんするでしょう。社会や時代の変化とともにシンクロしますから、時代を先読みした作品作りを手掛けましょう。



戸田美紀

Miki Toda

文章勉強歴、宇宙勉強歴40年。

ブックライター、ビジネス融合コンサルタントとして活動しながら、宇宙の法則、スピリチュアルについても発信している。



ブログ「出版メディア相談室～WEB文章からSNS構築、出版まで～」
<https://ameblo.jp/miki-coco/>



Instagram
https://www.instagram.com/toda_miki/



GMLインキュベーションオンラインサロン
<https://pro.form-mailer.jp/lp/7125aecf132333>



コンサルティング、バイオリズム、ホロスコープを兼ね備えた、自分メディアを含むビジネスを育てたい人のオンラインサロン。
<https://ameblo.jp/miki-coco/entry-12720235510.html>



あゆみき出版メディア相談室
<https://ameblo.jp/miki-coco/entry-12720235510.html>

Schedule 2023-24

2023年3月1日(水)～4月30日(日)	2023年度会費払込期間	※詳細は、2月28日にお送りしているメールマガジンもしくは認定講師サイトでご確認ください。
2023年4月27日(木)、28日(金)、29日(土・祝) 10:00～17:00	第47回2023日本ホビーショー (株)wGlueJapanブース参加 東京国際展示場(東京ビッグサイト)東展示棟 東4・5ホール	
2023年 4月19日(水)、5月17日(水)、6月21日(水) 7月19日(水)、8月16日(水)、9月20日(水) 10月18日(水)、11月15日(水)、12月20日(水) 2024年1月17日(水)	お茶会という名の作戦会議(予定・変更になる場合があります) ※お誕生日の方には、その前月の終わりにメールマガジンでお知らせいたします。 届いてない場合は本部にお問合せください。	
2023年5月21日(日)	プレシオサアンバサダー試験(オンライン)	



流れに逆らわずに、『流されていく』
それが世の中の新しい日常の
始まりかもしれません。

世の中がまた変化しつつあるようです。
コロナによって大きく変わった日常は、落ち着き、もとに
戻るのではなく、

新しい形の日常が始まりつつある。
その流れに逆らわず、サラッと“流されていく”という
感じが時代にあっているのではないかと
マスメディアを見ていても感じますが、SNSを拝見
しても同じような感じを受けます。時代に乗る
というのではなく、流されるという感覚が
ポイントかもしれません。

Sae's
天声人語

編

集

後

記

◆「こんにちは認定講師です」は、名古屋で活躍
されている小栗先生。クリスマス会に参加された
方も多いのです！

◆プレシオサの2024SS新作。なかなか
チャトンの新色は発売されませんが、新しい
カラーには心躍りますね！

◆理事のインタビューコーナー

今回のインタビューは、アーティストの関口彩
さん。心に響く方が多かったのでは。

◆2023年グルーデコカンファレンスはいかが
だったでしょうか。

今年は、実行委員の皆様で作り上げてもらつ
たカンファレンスでした。

講師さん目線での内容、楽しんでいただけた
かと思います。

また来年に向けてさらに進化していく予定です。

◆レシピは、wResinの活用レシピ。

可愛いカラーで作るとテンションがあがります。
作品を作つて余ったレジンで作るのもおすすめ
です。ぜひチャレンジしてみてくださいね。

◆戸田美紀先生のコラム。毎回わかりやすい
アドバイスが大人気。普段の生活に、グルーデコ
活動に役立ててください。

JGA Paper
2023年春夏 Vol.20

発行：一般社団法人日本グルーデコ協会
発行者：山岡まさえ
住所：〒541-0042
大阪府大阪市中央区今橋1-7-19 北浜ビルディング3階
TEL：06-4707-0888
E-mail：jga@wglue.co.jp
URL：https://www.wglue.co.jp/